

香港ブックフェア 香港スポーツ&レジャーエキスポ ジャパンパビリオン 出展概要

文化・観光プロモーションに最適な
100万人が集まる香港最大級イベント



2020年7月15日-21日
香港コンベンション
エキシビションセンター



香港ブックフェア 香港スポーツ&レジャーエキスポ ジャパンパビリオン出展概要

香港ブックフェア・香港スポーツ&レジャーエキスポとは

香港ブックフェアは次回で31回目を迎え、来場者100万人を誇る香港最大のBtoCイベントです。書籍の販売はもちろん、教材や文具の販売も行う当イベントは、近年100万人の来場者に向けた文化発信を行えるプラットフォームとしても機能しており、日本市場向けに主にインバウンドプロモーションを目的とした出展展開を行っています。2014年から始まったジャパンパビリオンは、日本のソフトパワーに着目し、各地域にゆかりのあるコンテンツを使うことで、従来の観光PR以上の成果を収めることを目指しております。ジャパンパビリオン出展社の皆様それぞれが、各地の観光情報の案内はもちろん、各地域にゆかりのあるアニメや漫画等のコンテンツを通じて、インバウンド誘致を行う展示活動や地域の文化に触れることのできる体験イベント等を行っています。また香港ブックフェアの同時開催イベントの香港スポーツ&レジャーエキスポは、スポーツ・レジャー用品の販売イベントとして2017年からジャパンパビリオンと同会場で開催されています。

開催日時・場所

開催日時:	2020年7月15日(水)16日(木)	午前10時～午後10時	
	2020年7月17日(金)18日(土)	午前10時～午後11時	*1階会場は翌日午前0時過ぎ迄
	2020年7月19日(日)20日(月)	午前10時～午後10時	
	2020年7月21日(火)	午前9時～午後5時	
開催場所:	香港コンベンション&エキシビジョン・センター		

出展費用 (2019年価格)

スタンダード(標準)ブース	US\$3,300 (1小間9㎡分)
自治体様向け特別標準ブース	US\$3,300 (1小間15㎡分)
カスタムビルド(特注)ブース *36㎡から注文可	US\$329 (1㎡あたり)

※お振込先は弊局香港本部の口座となります。送金手数料等はご出展様の負担となりますので、予めご了承願います。

※2020年時の出展費用が確定次第別途ご案内を致します。

出展費用に含まれないもの

- 出品物に掛かる関税及び消費税等
- 出品物の輸送(往復)に掛かる経費(保険料を含む)
- 出展者の渡航費及び宿泊費
- 追加注文される場合の備品代金
- その他前項に定める以外の経費



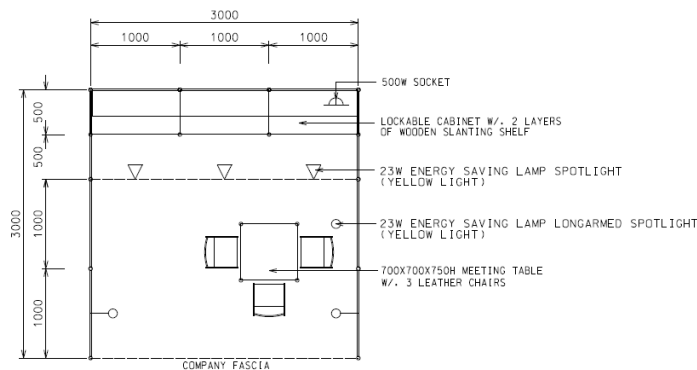
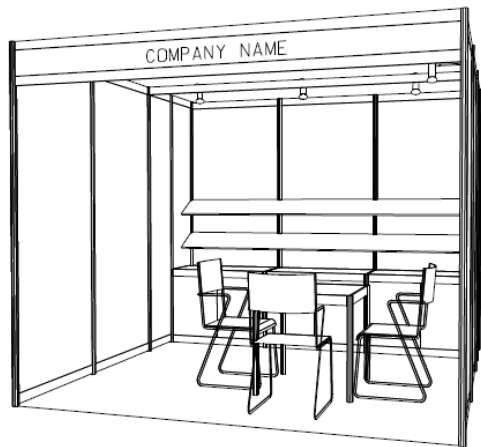
出展ブース

- 標準ブース1小間9㎡には以下の備品は含まれています。
テーブル1脚、椅子3脚、照明用ライト6個、コンセント1個、棚、キャビネット
- 標準ブースの照明等電気代及び工事費は上記金額内に含まれています。
- コンセント、棚及びキャビネットの位置は事前申請で、ご指定の場所に設置することが可能です。
当日現地での変更依頼は追加費用として300香港ドルが発生します。
- 壁面印刷も主催で対応可能です。データ提出の締切日にご注意ください。

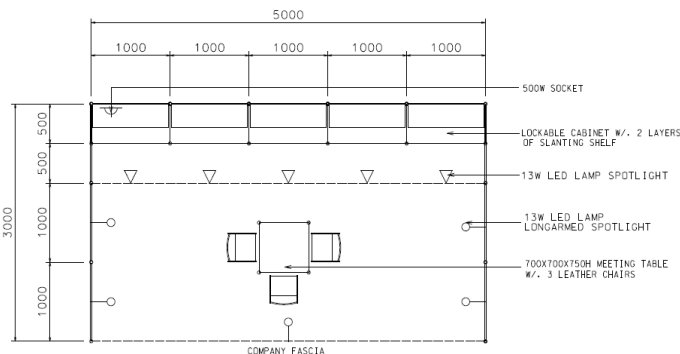
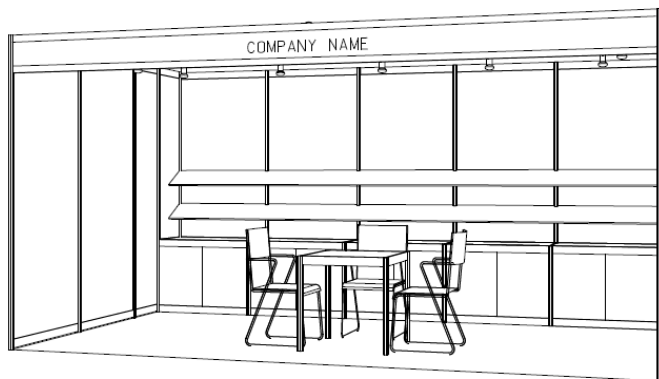
※書籍の展示販売の他にも、旅行商品やグッズ等の販売も可能です。ご興味のある方は担当者までお問い合わせ願います。

※ブースでの試飲・試食は一切行えません。ご注意願います。

スタンダード(標準)ブース 9㎡



自治体様向け特別標準ブース 15㎡



会場内無料ステージ貸出

ジャパンパビリオンに隣接するステージを無料で利用することができます。ステージイベントを企画されているご出展様はお気兼ねなく主催までご連絡ください。

【これまでのステージイベント例】

- 着ぐるみのキャラクターを起用したクイズ大会(優勝者への景品も準備)
- 香港で著名なインフルエンサーを起用し、出展社地元のグルメや観光についての講演
- 日本舞踊や落語等伝統芸能(※弊局で演者の手配や渡航費の提供は一切行いません)

※注意点

- ステージイベント1回につき最大60分間利用可能です。
- イベント内容及びステージの空き状況により貸出出来かねる場合もございます。



着ぐるみ等の着替え部屋

着ぐるみ等の着替え用のお部屋も準備しています。ご利用を希望される出展様は事前に主催までお伝えください。ただし、他の着ぐるみとの共用であることと、お部屋の扉の幅1m弱しかありませんので、その点だけご注意ください。着替え用のお部屋はジャパンパビリオン近くで用意しています。

無料収納スペース

ジャパンパビリオン裏に無料の収納スペースを用意しております。申込された出展様だけ使用可能で、パンフレット等の荷物をブース以外で保管することができます。収納可能面積は1.5m×1mになります。申込期限は5月29日(金)になります。

出展ブースでのワークショップ及びイベントについて

出展ブース内では、カタログやパンフレットの配布以外にも、来場者向け体験型のワークショップやイベントの開催をお薦めしています。地域や自社に関連するコンテンツを利用して行くと、より一層のPR効果が期待できます。

例: ○ばんえい競馬の動画を利用した競馬予想クイズ
○地元神社で有名な「鯛みくじ」を現地で実施
○地元の漫画学校と提携し漫画製作体験
○鯉節削り体験を通じて地域の名産もPR



2020年4月25日(金)

※弊局指定の出展申込書の記入及び提出をお願い致します。

(参考)出展者提出書類一覧及び締切

提出書類	提出期限
出展申込書	2020年4月25日(金)
ブース場所のご案内	2020年5月中旬予定
施工業者登録書 ※特注ブース出展社のみ	2020年5月22日(金)
ブースデザイン図提出 ※特注ブース出展社のみ	2020年5月22日(金)
香港記者会見用展示書籍提供	2020年5月22日(金)
会場内ステージ利用申込締切 ※希望者のみ	2020年5月29日(金)
無料収納スペース申込締切 ※希望者のみ	2020年5月29日(金)
電源申込書 ※特注ブース出展社のみ	2020年6月1日(月)
追加備品申込書 ※通常ブース出展社のみ	2020年6月1日(月)
事前広告用出展内容説明書	2020年6月1日(月)
ブース看板出展者名確定	2020年6月1日(月)
出展ブース確認書	2020年6月1日(月)
壁面印刷申込	2020年6月1日(月)
壁面印刷データ入稿	2020年6月5日(金)
ブース内備品配置指示 ※通常ブース出展社のみ	2020年6月19日(金)
ブース、備品、施工費のお支払	2020年6月30日(火)

【重要】

※提出期限後の施工関係の書類の提出には追加費用が発生します。締切日を十分ご確認の上、計画的なご準備をお願い致します。※ブース場所のご案内は5月中旬を予定していますが、ブース場所のご案内が遅れた場合でも、上記の締切日は変更しませんので、予めご注意くださいませ。※ブース、備品、施工費のお支払が期限を過ぎますと、出展取消になる場合がございますのでご注意願います。※委託先でブースデザイン等をご検討する出展社様は、事前に上記期限を考慮しまして、委託先とのご準備を進めて頂けますよう、お願い申し上げます。

香港貿易發展局(HKTDC)のご紹介

香港貿易發展局は1966年に香港貿易發展局条例制定に基づき、香港の対外貿易・経済関係促進を目的として、香港政府によって設立された特殊法人です。現在、東京・大阪と中国本土13都市を含む世界40以上の主要経済都市に事務所を有し、香港の経済経営資源情報からアジア・太平洋地域における事業拠点として活用方法など世界の企業家に広く提供すると同時に、香港の製品・サービスの紹介、主に中小企業を対象としたビジネスチャンスの創出に向けた各種支援活動をおこなっています。

地方発のコンテンツを求める香港人

2018年訪日外客数は過去最高の3,119万2千人*となりましたが、香港から日本への旅行者数は著しく増加しており、国・地域別では第4位となる221万人強*と、約700万人の人口のうち3.3人に1人が日本にきている計算になります。香港人旅行者の特徴として、リピーター率が非常に高く、地方への自由な個人旅行を好み、電車やレンタカーを使い、東京以外の各地域を目指す傾向が強いです。また旅行先では、その土地の特産物の購入や名所、観光地を訪れ、体験型の旅行を求める方が多いです。



もともと親日である香港人は、他の国・地域よりも日本文化への理解が非常に深く、音楽やドラマ、マンガから食やファッション、デザインまで非常に多岐に渡る日本の文化が、彼らの生活に浸透しています。近年このような香港人へのプロモーションとして鍵となるのが、日本の地方発のコンテンツです。新しいもの好きな香港人にとってまだ誰も知らない地方のコンテンツが非常に魅力的に映ります。

*各数値は 日本政府観光局より抜粋

香港の魅力

香港は、1997年に150年間に及ぶイギリス統治が終わり中国に返還されましたが、中国とイギリスとの合意による「一国二制度」の下、外交と防衛を除くすべての行政分野で自治が認められています。また、香港法制度は、主にイギリスの法制度に基づいており、基本法によって商業・政治・個人の自由が保障されています。

インフラも世界でも高水準にあり、香港国際空港は、海外100都市、及び中国40都市以上の都市を結んでいるほか、香港は国際コンテナ港と航空貨物輸送ターミナルがあり、航空貨物の取扱量は世界一となっています。

香港の魅力・優位性

- シンプルかつ低率な税制度
- 分かり易いビジネス環境・法制度
- アジアの金融センター
- 世界トップクラスのビジネスサービス
- コスモポリタンなライフスタイル
- 複数の言葉を使用する労働者
- 経験豊富な中国リスクマネジャー
- 投資や資本の流れに規制がない



30周年『香港ブックフェア』が終幕

ジャパンパビリオンが過去最大規模に、官民挙げインバウンド誘致









2019年7月30日 香港貿易發展局が2019年7月17日（水）～23日（火）に香港會議展覽センター（香港コンベンション&エキシビション・センター）で開催した地元最大級の書籍見本市『香港ブックフェア』で、出展社数・面積ともに過去最大規模となったジャパンパビリオンには、昨年以上に多くの来場者が訪れました。今年で6回目となる同パビリオンには、在香港日本国総領事館、日本政府観光局（JNTO）、一般社団法人アニメツーリズム協会をはじめとした政府機関や業界団体の他、日本全国から多数の自治体、小売り、鉄道、空港などの企業が出展、官民挙げて一丸となり、オールジャパンでインバウンド（訪日外国人）誘致に向けたプロモーションを行いました。

香港からの日本への年間旅行者数が220万人（香港総人口の3.3人に1人）規模に達する現在、『香港ブックフェア』は、書籍・文具の販売だけでなく、文化コンテンツの発信の場としても最適なプラットフォームとなっています。中でも浴衣の着付けや、イラスト・マンガ教室、日本文化を伝えるワークショップ等の体験型プロモーション活動は、地域の文化や観光などの魅力を直接来場者に伝えることができ、出展者にとってはダイレクトマーケティングの格好のチャンスになります。一方、来場者にとっては、日本まで行かずに、体験型ツーリズムに近い楽しみを味わえるとあつ

て、開幕前から問い合わせが来るほどの人気となっています。『香港ブックフェア』の目玉の一つとしてジャパンパビリオンが認知されるようになった今、出展者からは「今年のジャパンパビリオンは例年以上の盛り上がりを見せた」との声も出ました。

第30回目の開催となった今年の『香港ブックフェア』には世界39カ国・地域から過去最多となる686社・団体が出展し、7日間の会期中に延べ98万人が来場者しました。「SFとミステリー」を主題とした今回は、セミナー、トークショー、国際出版フォーラムなど310以上の文化イベントも開催されました。会期中のアンケート調査によると、1人当たりの購入額は前年より8%多い875香港ドル(約12000円)となりました。

	<p>初出展となる東京国際空港（羽田空港）は、同空港に加え、フライトが就航している国内の他空港についてもプロモーションしました。展示ブースでは記念撮影コーナーや、もれなく景品があたるイベントなどを実施し、連日行列ができる程のにぎわいを見せました。</p>
	<p>今年7月に香港で初出店を果たしたディスカウントストア「ドン・キホーテ」がブース出展し、自社店舗の宣伝に加え、メーカー各社からのサンプル品の配布や、最新家電をかけたダーツゲームを行いました。また今年初めて、会場内のステージでイベントを開催しました。</p>
	<p>自治体では、今年が初出展となった富山県および長野県が、香港で美食家として有名なウォルター・ケイさんによる「富山・長野セミナー」を行いました。両県のグルメや観光スポット等について香港人向けに講演を行い、来場者が熱心に耳を傾けていました。</p>
	<p>ジャパンパビリオン最大の展示ブースである一般社団法人アニメツーリズム協会は、自治体や企業各社の出展スペースも設け、最新版「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」の紹介、アニメ聖地巡礼にちなんだ旅行商品の販売、VR（仮想現実）体験、また漫画を描く体験やかつおぶし削り体験など、魅力的なワークショップも行いました。</p>
	<p>日本政府観光局(JNTO)は新しいプロモーションテーマ「日本 総有再去的理由（日本にはいつももう一度訪れる理由がある）」を踏まえたブース展開をされ、日本の伝統工芸品に触れるワークショップや、ブース内ステージで各地域の観光紹介セミナー等も行いました。</p>
	<p>人気作家・湊かなえさんの講演会が開催され、香港のメディアで活躍し日本文化にも精通しているKengo氏がモデレーターを務めました。定員を大幅に上回る事前参加申込が集まったため、別会場でライブ中継も行われました。</p>

2019年香港ブックフェア報告

開催期間： 2019年7月17日～23日

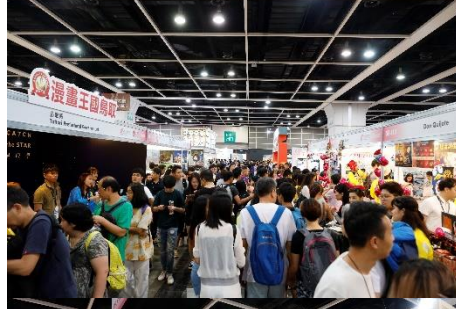
出展者数： 686社・団体以上（39の国と地域より）

来場者数： 98万人

ジャパンパビリオン ブース出展社（順不同）：

在香港日本国総領事館、日本政府観光局(JNTO)、一般社団法人アニメツーリズム協会、新潟市、埼玉県、長野県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、四国ツーリズム創造機構、徳島県、沖縄観光コンベンションビューロー、株式会社KADOKAWA、株式会社ドン・キホーテ、西武鉄道株式会社、株式会社そごう・西武、東武鉄道株式会社、株式会社ジェイアール東海エージェンシー、東京国際空港（羽田空港）、サンリオピューロランド、モーリーオンライン、JALサテライト等

2019年香港ブックフェア ジャパンパビリオン会場風景



お問い合わせ先

香港貿易發展局 東京事務所

〒102-0083 東京都千代田区麴町3丁目4番地

トラスティ麴町ビル6階

電話:(03)5210-5850(代)

ファックス:(03)5210-5860

E-mail: tokyo.office@hktdc.org

担当:丸子 将太

香港貿易發展局 大阪事務所

〒541-0052 大阪府中央区安土町2丁目3番13号

大阪国際ビルディング10階

電話:(06)4705-7030(代)

ファックス:(06)4705-7015

E-mail: osaka.office@hktdc.org

担当:リッキー・フォン